

寄生虫性肝炎



豚の病気

原因

豚回虫という寄生虫が原因であることが多い。
糞中に排泄された豚回虫の卵を食べることで感染。

症状

小腸内で孵化した虫が体内を移動する際に
肝臓を通過し、病変（白斑）を作る。
生体では外見上ははっきりとした症状は見られない。
しかし、豚回虫が腸管内に寄生していると、
豚が飼料の栄養を十分に吸収することができず、
飼料効率が低下する。

予防

豚舎の洗浄・消毒
豚回虫は一度に大量の卵を産み、卵は熱などに強く
糞中で長期間生存するため、豚は集団で感染する。
そのため、早期治療、予防が重要。

処分

部分廃棄（病気の部分のみ廃棄となる）



腸管内の豚回虫の成虫



肝臓に白斑（ミルクスポット）を形成